

農機具の仕組み ～脱穀・調整の農具～

開期 平成25年 12月7日～12月25日

資料館が収蔵する資料の中で、お米や麦を収穫した後に使用される脱穀・調整農具にスポットを当て、各農具の仕組みと変遷を紹介する展示を企画しました。
開期中には、農具の原理を応用した、ものづくり体験コーナーもあります。



とうみ
唐箕

これらの農具は、作物としてより良い品質を求め、また一方では翌年に蒔く種を選ぶ目的で使用され、改良されてきました。それら各農具の仕組みや時代による移り変わりを、実物資料をもとにご紹介します。



じどうもみすりき
自動粃摺機

体験コーナー「万石貯金箱をつくろう」

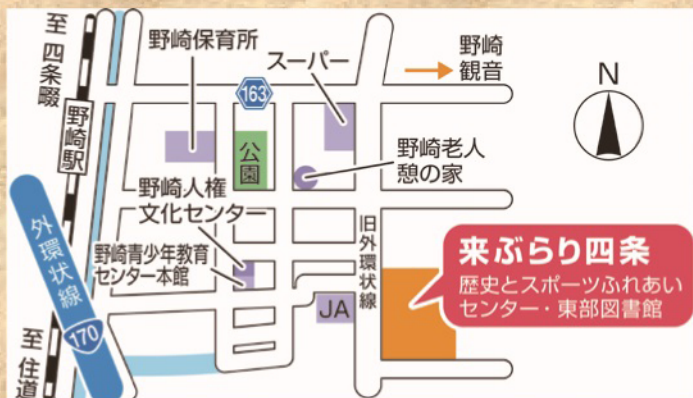
「万石通し」という農具を知っていますか？
斜めに掛けたふるいに穀物を流すと、その大きさによって落ちる場所が異なるため、自動的に選別が出来るという農具です。

体験コーナーでは、この万石通しの原理を応用した、コインを分ける貯金箱をつくります。



まんごくとお
万石通し

開催日 12/8(日)、15(日)
時間 13:00～14:00、15:00～16:00(一日二回)
参加費 無料
参加人数 各回10名。事前に電話か窓口にて受付します。



大東市立歴史民俗資料館

歴史とスポーツふれあいセンター2F

〒574-0037

大阪府大東市野崎3-6-1

電話 072-876-7011

FAX 072-876-7702

JR学研都市線「野崎」駅下車、約700m